



2020年3月期 決算短信(日本基準)(連結)

2020年5月13日

上場会社名 株式会社 ショクブン
 コード番号 9969 URL <http://www.shokubun.co.jp>

上場取引所 東名

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 鈴木 章人
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 管理本部長 (氏名) 伊藤 久日 TEL 052-773-1011
 定時株主総会開催予定日 2020年6月26日 有価証券報告書提出予定日 2020年6月29日

配当支払開始予定日
 決算補足説明資料作成の有無 : 有
 決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期の連結業績(2019年4月1日～2020年3月31日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期	6,655	6.3	167		166		90	
2019年3月期	7,104	10.8	58		88		382	

(注) 包括利益 2020年3月期 90百万円 (%) 2019年3月期 432百万円 (%)

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり当期純利益	自己資本当期純利益率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2020年3月期	9.39		19.9	3.0	2.5
2019年3月期	39.83		61.3	1.4	0.8

(参考) 持分法投資損益 2020年3月期 百万円 2019年3月期 百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期	4,865	497	10.2	51.84
2019年3月期	6,107	407	6.7	42.43

(参考) 自己資本 2020年3月期 497百万円 2019年3月期 407百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2020年3月期	160	1,298	1,416	563
2019年3月期	109	393	416	521

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当 率(連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2019年3月期		0.00		0.00	0.00			
2020年3月期		0.00		0.00	0.00			
2021年3月期(予想)		0.00		0.00	0.00			

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	3,146	3.2	51	51.5	39	25.3	21	83.4	2.26
通期	6,528	2.0	167	0.1	143	16.3	108	20.1	11.28

注記事項

- (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
 新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 以外の会計方針の変更 : 無
 会計上の見積りの変更 : 無
 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期	11,856,669 株	2019年3月期	11,856,669 株
期末自己株式数	2020年3月期	2,253,098 株	2019年3月期	2,252,969 株
期中平均株式数	2020年3月期	9,603,664 株	2019年3月期	9,603,722 株

(参考)個別業績の概要

1. 2020年3月期の個別業績(2019年4月1日～2020年3月31日)

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期	6,644	6.3	151		197		139	
2019年3月期	7,092	10.8	99		97		379	

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期	14.52	
2019年3月期	39.53	

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期	4,828	456	9.5	47.56
2019年3月期	5,989	288	4.8	30.04

(参考) 自己資本 2020年3月期 456百万円 2019年3月期 288百万円

2. 2021年3月期の個別業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	3,141	3.2	42	61.7	40	63.6	29	83.5	3.05
通期	6,518	1.9	150	0.7	136	44.7	113	18.6	11.82

決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の情報に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料3ページ「1.経営成績等の概況(4)今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	2
(4) 今後の見通し	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	4
3. 連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 連結貸借対照表	5
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	7
(3) 連結株主資本等変動計算書	9
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	10
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	12
(継続企業の前提に関する注記)	12
(セグメント情報等)	12
(1株当たり情報)	12
(重要な後発事象)	12
(販売の状況)	12
(開示の省略)	12
4. 個別財務諸表及び主な注記	13
(1) 貸借対照表	13
(2) 損益計算書	15
(3) 株主資本等変動計算書	16

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当社グループは、お客様に一家団らんの楽しい食卓を囲んでいただくべく魅力的なメニューを基に安全・安心で美味しい食材をお届けすることで、満足度の高いサービスのご提供に努めております。

当連結会計年度におきましては、主力メニューの商品売上高は60億40百万円（前年度比94.0%）、特売商品売上高については、6億15百万円（前年度比90.9%）になりました。

例年に比べ1年を通して気候が安定し野菜の仕入価格が安定していたことと、大阪の製造部門を閉鎖したことで経費を削減でき、売上原価率は59.6%と前年度の61.7%に比べて2.1ポイント減少いたしました。

また、販管費及び一般管理費は前年度より2億61百万円減少し、25億19百万円になりました。この主な理由は、営業所の統廃合により人件費や賃借料等が減少したことによるものです。

これらの結果、当連結会計年度の業績は、売上高が66億55百万円（前年度比93.7%）、経常利益は1億66百万円（前年度は88百万円の経常損失）となりました。統廃合により遊休となった不動産を売却したことにより固定資産売却益を1億58百万円計上いたしました。また、拠点の統廃合に伴う経営効率の向上を目的とし、商圏からの撤退を意思決定した支社及び本社土地の一部について減損損失2億10百万円を計上したため、親会社株主に帰属する当期純利益は90百万円（前年度は3億82百万円の親会社株主に帰属する当期純損失）となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

① 資産

資産の部では、減損損失の計上及び遊休不動産の売却に伴い、有形固定資産が9億円減少したこと等により、資産合計は前連結会計年度末に比べ12億42百万円減少の48億65百万円になりました。

② 負債

負債の部では、リース債務が1億9百万円増加しましたが、短期借入金が4億64百万円、1年内返済予定の長期借入金1億49百万円、長期借入金7億47百万円減少したこと等により、負債合計は前連結会計年度末に比べ13億32百万円減少の43億67百万円になりました。

③ 純資産

純資産の部では、退職給付に係る調整累計額は減少しましたが、利益剰余金が増加したこと等により、純資産合計は前連結会計年度末に比べ90百万円増加の4億97百万円になりました。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末の現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ41百万円増加し、5億63百万円になりました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当連結会計年度における営業活動の結果、増加した資金は1億60百万円（前連結会計年度は1億9百万円の減少）になりました。これは、有形固定資産売却益1億58百万円等の計上がありましたが、税金等調整前当期純利益91百万円、減損損失2億10百万円等を計上したことによるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

当連結会計年度における投資活動の結果、増加した資金は12億98百万円（前連結会計年度は3億93百万円の増加）になりました。これは、有形固定資産の取得による支出2億17百万円等がありましたが、有形固定資産の売却による収入11億45百万円、定期預金の払戻による収入2億57百万円等により資金が増加したことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度における財務活動の結果、減少した資金は14億16百万円（前連結会計年度は4億16百万円の減少）になりました。これは、主に短期借入金の減少4億64百万円、長期借入金の返済による支出8億97百万円等により資金が減少したことによるものであります。

	2018年3月期	2019年3月期	2020年3月期
自己資本比率 (%)	12.0	6.7	10.2
時価ベースの自己資本比率 (%)	49.5	33.3	54.7
キャッシュ・フロー対有利子負債比率 (倍)	—	—	22.8
インタレスト・カバレッジ・レシオ (倍)	—	—	6.3

(注) 1. 各指標は、いずれも連結ベースの財務数値によっており、以下の算式で算定しております。

自己資本比率：自己資本／総資産

時価ベースの自己資本比率：株式時価総額／総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率：有利子負債／キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ：キャッシュ・フロー／利払い

2. 株式時価総額は、自己株式を除く発行済株式数をベースに算出しております。
3. キャッシュ・フローは営業キャッシュ・フローを使用しております。
4. 有利子負債は、連結貸借対照表に計上されている負債のうち利子を支払っているすべての負債を対象としております。また、利払いについては、連結キャッシュ・フロー計算書の利息の支払額を使用しております。
5. 2018年3月期及び2019年3月期におけるキャッシュ・フロー対有利子負債比率 (倍) 及びインタレスト・カバレッジ・レシオ (倍) は営業キャッシュ・フローがマイナスのため、省略しております。

(4) 今後の見通し

今後の見通しにつきましては、新型コロナウイルス感染症の世界的流行により、国内外に大きな影響を及ぼしており、世界各国で緊急的な対応に迫られ、国内経済のみならず、世界経済への長期的な影響が懸念されます。

新型コロナウイルス感染症による当社グループへの影響につきましては、感染拡大や長期化に伴い、消費の低迷や、業種・業態を超えた競争激化、一部仕入価格が高騰する等の懸念があります。一方で、安全・安心で美味しい食材をお届けする弊社の事業は、新型コロナウイルス感染拡大による外出自粛が叫ばれる中、社会のインフラとして重要な役割を担っていると認識しております。

このような状況の下、当社グループは前連結会計年度より取り組んでおります、拠点統廃合による経営効率の向上、原価低減への取り組み、経費面の徹底的な見直しの3つの施策を引き続き推進すると同時に、配送ルートの最適化、マーケティング分野の強化へ着手し、より強固な宅配システムの確立を推進しております。

翌連結会計年度（2021年3月期）の連結業績見通しにつきましては、売上高65億28百万円（前期比2.0%減）、営業利益1億67百万円（前期比0.1%増）、経常利益1億43百万円（前期比16.3%減）、親会社株主に帰属する当期純利益1億8百万円（前期比20.1%増）を見込んでおります。

なお、新型コロナウイルスの感染拡大にともない当社グループは、お客様・株主様・お取引先やパートナーの皆様、従業員等、各ステークホルダーの安全と健康を第一に考え、本社における従業員の時差出勤、出張等の自粛、全従業員の出社前の検温の徹底とマスクの着用、1軒お届けするごとにアルコール消毒の徹底、従業員の体調管理の把握等さまざまな対策を実施しておりますが、営業所や製造部門の従業員等において新型コロナウイルス感染症の感染者が発生し、営業所の営業に支障をきたした場合や、お取引先において新型コロナウイルス感染症により経営資源（ヒト・モノ・カネ・情報）に影響が生じ、安定的な商品供給や仕入れ価格への影響等が発生した場合、当社グループの業績に大きな影響を及ぼす可能性があり、必要に応じて業績見通しの修正開示を行う可能性があります。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、連結財務諸表の期間比較可能性及び企業間の比較可能性を考慮し、当面は日本基準で連結財務諸表を作成する方針であります。

なお、I F R Sの適用については、国内外の諸情勢を考慮の上、適切に対応していく方針であります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当連結会計年度 (2020年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	679,600	593,708
売掛金	22,580	42,499
原材料及び貯蔵品	110,247	95,222
その他	40,091	41,421
貸倒引当金	△8,503	△1,007
流動資産合計	844,016	771,844
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	2,299,040	1,973,326
減価償却累計額	△1,605,134	△1,421,393
建物及び構築物(純額)	693,905	551,933
機械装置及び運搬具	30,983	29,855
減価償却累計額	△29,289	△27,215
機械装置及び運搬具(純額)	1,694	2,639
工具、器具及び備品	249,607	196,378
減価償却累計額	△243,817	△193,176
工具、器具及び備品(純額)	5,789	3,202
土地	3,876,848	2,998,745
リース資産	84,671	181,867
減価償却累計額	△53,183	△29,085
リース資産(純額)	31,488	152,782
有形固定資産合計	4,609,726	3,709,303
無形固定資産	27,524	35,383
投資その他の資産		
投資有価証券	148,775	7,504
退職給付に係る資産	265,672	234,841
その他	222,786	106,636
貸倒引当金	△10,670	-
投資その他の資産合計	626,564	348,982
固定資産合計	5,263,814	4,093,670
資産合計	6,107,831	4,865,515

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当連結会計年度 (2020年3月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	258,430	263,364
短期借入金	2,990,000	2,525,030
1年内返済予定の長期借入金	520,784	370,940
リース債務	49,388	62,435
未払法人税等	24,921	23,400
未払消費税等	20,855	8,741
賞与引当金	40,000	29,650
資産除去債務	8,152	2,500
ポイント引当金	-	10,912
その他	301,965	285,540
流動負債合計	4,214,496	3,582,514
固定負債		
長期借入金	1,286,449	538,863
リース債務	56,514	152,922
繰延税金負債	119,510	71,735
資産除去債務	22,554	20,921
その他	836	670
固定負債合計	1,485,864	785,112
負債合計	5,700,361	4,367,627
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,148,010	1,148,010
資本剰余金	1,488,141	1,488,141
利益剰余金	△1,115,467	△1,025,259
自己株式	△1,111,208	△1,111,231
株主資本合計	409,475	499,661
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△28,809	-
退職給付に係る調整累計額	26,804	△1,773
その他の包括利益累計額合計	△2,005	△1,773
純資産合計	407,470	497,887
負債純資産合計	6,107,831	4,865,515

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

連結損益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
売上高	7,104,378	6,655,301
売上原価	4,381,681	3,968,351
売上総利益	2,722,697	2,686,950
販売費及び一般管理費	2,781,540	2,519,854
営業利益又は営業損失(△)	△58,842	167,095
営業外収益		
受取利息	633	1,339
受取配当金	3,942	4,440
受取手数料	9,426	11,054
固定資産受贈益	-	8,451
その他	9,192	8,764
営業外収益合計	23,195	34,051
営業外費用		
支払利息	21,793	25,341
貸倒引当金繰入額	10,670	-
支払手数料	-	6,389
その他	20,777	3,006
営業外費用合計	53,241	34,737
経常利益又は経常損失(△)	△88,888	166,409
特別利益		
固定資産売却益	87,030	158,987
投資有価証券売却益	-	14,688
特別利益合計	87,030	173,676
特別損失		
減損損失	332,575	210,440
投資有価証券売却損	-	38,505
特別損失合計	332,575	248,945
税金等調整前当期純利益又は税金等調整前当期純損失(△)	△334,434	91,140
法人税、住民税及び事業税	38,358	36,106
法人税等調整額	9,742	△35,174
法人税等合計	48,100	932
当期純利益又は当期純損失(△)	△382,535	90,207
親会社株主に帰属する当期純利益又は親会社株主に帰属する当期純損失(△)	△382,535	90,207

連結包括利益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
当期純利益又は当期純損失 (△)	△382,535	90,207
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△32,059	28,809
退職給付に係る調整額	△18,306	△28,578
その他の包括利益合計	△50,366	231
包括利益	△432,902	90,439
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	△432,902	90,439

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本					その他の包括利益累計額			純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他有価証券評価差額金	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計	
当期首残高	1,148,010	1,488,147	△732,931	△1,111,196	792,029	3,250	45,111	48,361	840,391
当期変動額									
親会社株主に帰属する当期純損失(△)			△382,535		△382,535				△382,535
自己株式の取得				△34	△34				△34
自己株式の処分		△6		22	15				15
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)						△32,059	△18,306	△50,366	△50,366
当期変動額合計	—	△6	△382,535	△12	△382,554	△32,059	△18,306	△50,366	△432,921
当期末残高	1,148,010	1,488,141	△1,115,467	△1,111,208	409,475	△28,809	26,804	△2,005	407,470

当連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本					その他の包括利益累計額			純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他有価証券評価差額金	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計	
当期首残高	1,148,010	1,488,141	△1,115,467	△1,111,208	409,475	△28,809	26,804	△2,005	407,470
当期変動額									
親会社株主に帰属する当期純利益			90,207		90,207				90,207
自己株式の取得				△34	△34				△34
自己株式の処分				12	12				12
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)						28,809	△28,578	231	231
当期変動額合計	—	—	90,207	△22	90,185	28,809	△28,578	231	90,417
当期末残高	1,148,010	1,488,141	△1,025,259	△1,111,231	499,661	—	△1,773	△1,773	497,887

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益又は税金等調整前当期純損失(△)	△334,434	91,140
減価償却費	83,432	79,649
減損損失	332,575	210,440
賞与引当金の増減額(△は減少)	△5,930	△10,349
貸倒引当金の増減額(△は減少)	10,996	△9,496
退職給付に係る資産の増減額(△は増加)	△26,936	△10,347
受取利息及び受取配当金	△4,576	△5,779
支払利息	21,793	25,341
投資有価証券売却損益(△は益)	-	23,816
有形固定資産売却損益(△は益)	△87,030	△158,987
売上債権の増減額(△は増加)	2,325	△19,919
たな卸資産の増減額(△は増加)	13,440	15,025
仕入債務の増減額(△は減少)	△48,085	4,933
未払金の増減額(△は減少)	16,677	△39,939
前受金の増減額(△は減少)	1,443	59,009
ポイント引当金の増減額(△は減少)	-	10,912
未払消費税等の増減額(△は減少)	△10,002	2,727
その他	△7,641	△54,633
小計	△41,952	213,543
利息及び配当金の受取額	4,124	6,399
利息の支払額	△22,770	△25,412
法人税等の支払額	△48,558	△34,156
営業活動によるキャッシュ・フロー	△109,157	160,374
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△166,788	△30,000
定期預金の払戻による収入	172,780	257,516
有形固定資産の取得による支出	△5,579	△217,127
有形固定資産の売却による収入	400,487	1,145,773
無形固定資産の取得による支出	△5,415	△8,744
投資有価証券の取得による支出	△11,996	△6,997
投資有価証券の売却による収入	-	153,261
差入保証金の回収による収入	7,303	7,712
その他	2,333	△3,266
投資活動によるキャッシュ・フロー	393,126	1,298,128

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	140,000	△464,970
長期借入れによる収入	450,000	-
長期借入金の返済による支出	△924,464	△897,430
リース債務の返済による支出	△81,877	△54,398
自己株式の取得による支出	△34	△34
自己株式の売却による収入	15	12
配当金の支払額	△35	△56
財務活動によるキャッシュ・フロー	△416,395	△1,416,878
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△132,426	41,624
現金及び現金同等物の期首残高	654,398	521,972
現金及び現金同等物の期末残高	521,972	563,597

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当社グループは、食品事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
1株当たり純資産額	42.43円	51.84円
1株当たり当期純利益又は1株当たり当期純損失(△)	△39.83円	9.39円

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、前連結会計年度は1株当たり当期純損失であり、また、潜在株式が存在しないため記載しておりません。また当連結会計年度は潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2. 1株当たり当期純利益又は1株当たり当期純損失の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
親会社株主に帰属する当期純利益又は当期純損失(△) (千円)	△382,535	90,207
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益又は当期純損失(△) (千円)	△382,535	90,207
普通株式の期中平均株式数(株)	9,603,722	9,603,664

3. 1株当たり純資産額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当連結会計年度 (2020年3月31日)
純資産の部の合計額(千円)	407,470	497,887
純資産の部の合計額から控除する金額(千円)	—	—
普通株式に係る期末の純資産額(千円)	407,470	497,887
1株当たり純資産額の算定に用いられた期末の普通株式の数(株)	9,603,700	9,603,571

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

(販売の状況)

商品別	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)		当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	
	金額 千円	前年度比 %	金額 千円	前年度比 %
メニュー商品	6,427,910	87.8	6,040,220	94.0
特売商品	676,468	104.3	615,081	90.9
計	7,104,378	89.1	6,655,301	93.7

(開示の省略)

上記以外の注記事項については、決算短信における開示の必要性が大きいと考えられるため、開示を省略しております。

4. 個別財務諸表及び主な注記

(1) 貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2019年3月31日)	当事業年度 (2020年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	529,404	481,201
売掛金	21,643	41,436
原材料及び貯蔵品	108,213	93,594
前払費用	17,208	18,150
その他	22,659	22,735
貸倒引当金	△8,503	△1,007
流動資産合計	690,626	656,111
固定資産		
有形固定資産		
建物	675,096	541,562
構築物	18,676	10,254
機械及び装置	1,200	534
車両運搬具	377	2,105
工具、器具及び備品	5,669	2,870
土地	3,844,935	2,972,615
リース資産	31,488	152,782
有形固定資産合計	4,577,443	3,682,726
無形固定資産		
借地権	5,999	5,999
ソフトウェア	-	3,297
その他	21,160	25,722
無形固定資産合計	27,160	35,019
投資その他の資産		
投資有価証券	148,775	7,504
関係会社株式	105,171	105,171
出資金	166	166
前払年金費用	228,731	236,142
その他	221,996	105,846
貸倒引当金	△10,670	-
投資その他の資産合計	694,170	454,830
固定資産合計	5,298,774	4,172,576
資産合計	5,989,400	4,828,687

(単位：千円)

	前事業年度 (2019年3月31日)	当事業年度 (2020年3月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	258,479	261,772
短期借入金	2,990,000	2,525,030
1年内返済予定の長期借入金	520,784	370,940
リース債務	49,388	62,435
未払金	138,800	102,509
未払費用	115,601	102,499
未払法人税等	32,563	23,464
未払消費税等	23,221	9,445
前受金	18,049	75,883
預り金	29,743	7,141
賞与引当金	40,000	29,650
資産除去債務	8,152	2,500
ポイント引当金	-	10,912
その他	1,450	1,245
流動負債合計	4,226,232	3,585,429
固定負債		
長期借入金	1,286,449	538,863
リース債務	56,514	152,922
繰延税金負債	108,315	73,134
資産除去債務	22,554	20,921
その他	836	670
固定負債合計	1,474,669	786,512
負債合計	5,700,901	4,371,941
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,148,010	1,148,010
資本剰余金		
資本準備金	211,806	211,806
その他資本剰余金	1,276,335	1,276,335
資本剰余金合計	1,488,141	1,488,141
利益剰余金		
利益準備金	115,004	115,004
その他利益剰余金		
固定資産圧縮積立金	84,322	-
繰越利益剰余金	△1,406,961	△1,183,179
利益剰余金合計	△1,207,634	△1,068,174
自己株式	△1,111,208	△1,111,231
株主資本合計	317,308	456,745
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△28,809	-
評価・換算差額等合計	△28,809	-
純資産合計	288,498	456,745
負債純資産合計	5,989,400	4,828,687

(2) 損益計算書

(単位：千円)

	前事業年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当事業年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
売上高	7,092,156	6,644,071
売上原価	4,388,392	3,973,281
売上総利益	2,703,763	2,670,790
販売費及び一般管理費	2,803,508	2,519,444
営業利益又は営業損失(△)	△99,744	151,345
営業外収益		
受取利息及び配当金	34,576	50,779
受取手数料	11,826	13,454
固定資産受贈益	-	8,451
その他	8,871	7,950
営業外収益合計	55,273	80,636
営業外費用		
支払利息	21,793	25,341
貸倒引当金繰入額	10,670	-
支払手数料	-	6,389
その他	20,741	2,956
営業外費用合計	53,205	34,687
経常利益又は経常損失(△)	△97,677	197,295
特別利益		
固定資産売却益	87,030	158,987
投資有価証券売却益	-	14,688
特別利益合計	87,030	173,676
特別損失		
減損損失	332,575	204,657
投資有価証券売却損	-	38,505
特別損失合計	332,575	243,162
税引前当期純利益又は税引前当期純損失(△)	△343,222	127,808
法人税、住民税及び事業税	29,059	23,529
法人税等調整額	7,320	△35,180
法人税等合計	36,380	△11,650
当期純利益又は当期純損失(△)	△379,603	139,459

(3) 株主資本等変動計算書

前事業年度(自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本							
	資本金	資本剰余金			利益剰余金			
		資本準備金	その他 資本剰余金	資本剰余金 合計	利益準備金	その他利益剰余金		利益剰余金 合計
					固定資産 圧縮積立金	繰越利益 剰余金		
当期首残高	1,148,010	211,806	1,276,341	1,488,147	115,004	84,322	△1,027,358	△828,031
当期変動額								
当期純損失(△)							△379,603	△379,603
固定資産圧縮積立金の 積立								—
自己株式の取得								
自己株式の処分			△6	△6				
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)								
当期変動額合計	—	—	△6	△6	—	—	△379,603	△379,603
当期末残高	1,148,010	211,806	1,276,335	1,488,141	115,004	84,322	△1,406,961	△1,207,634

	株主資本		評価・換算差額等		純資産合計
	自己株式	株主資本合計	その他 有価証券 評価差額金	評価・換算 差額等合計	
当期首残高	△1,111,196	696,929	3,250	3,250	700,180
当期変動額					
当期純損失(△)		△379,603			△379,603
固定資産圧縮積立金の 積立		—			—
自己株式の取得	△34	△34			△34
自己株式の処分	22	15			15
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)			△32,059	△32,059	△32,059
当期変動額合計	△12	△379,621	△32,059	△32,059	△411,681
当期末残高	△1,111,208	317,308	△28,809	△28,809	288,498

当事業年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本							
	資本金	資本剰余金			利益剰余金			
		資本準備金	その他 資本剰余金	資本剰余金 合計	利益準備金	その他利益剰余金		利益剰余金 合計
					固定資産 圧縮積立金	繰越利益 剰余金		
当期首残高	1,148,010	211,806	1,276,335	1,488,141	115,004	84,322	△1,406,961	△1,207,634
当期変動額								
当期純利益							139,459	139,459
固定資産圧縮積立金の 取崩						△84,322	84,322	—
自己株式の取得								
自己株式の処分								
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)								
当期変動額合計	—	—	—	—	—	△84,322	223,781	139,459
当期末残高	1,148,010	211,806	1,276,335	1,488,141	115,004	—	△1,183,179	1,068,174

	株主資本		評価・換算差額等		純資産合計
	自己株式	株主資本合計	その他 有価証券 評価差額金	評価・換算 差額等合計	
当期首残高	△1,111,208	317,308	△28,809	△28,809	288,498
当期変動額					
当期純利益		139,459			139,459
固定資産圧縮積立金の 取崩		—			—
自己株式の取得	△34	△34			△34
自己株式の処分	12	12			12
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)			28,809	28,809	28,809
当期変動額合計	△22	139,437	28,809	28,809	168,246
当期末残高	△1,111,231	456,745	—	—	456,745

2020年3月期 決算短信 (発表資料の要約)

当社の2020年3月期決算につきまして、配布の決算短信のとおり発表させていただきます。

1. 業績について

イ 当連結会計年度及び当事業年度の業績

	(連結)		(個別)	
		前年度比		前年度比
売上高	66億55百万円	93.7%	66億44百万円	93.7%
営業利益	1億67百万円	—%	1億51百万円	—%
経常利益	1億66百万円	—%	1億97百万円	—%
当期純利益	90百万円	—%	1億39百万円	—%
1株当たり当期純利益	9円39銭		14円52銭	

(注) 当社の連結対象子会社は、株式会社食文化研究所と事業食サービス株式会社の2社であります。

- ① 売上高は66億55百万円になり、当期売上高は前期に比べ6.3%減少しました。
- ② 経常利益は1億66百万円(前年度は88百万円の経常損失)となりました。例年に比べ1年を通して気候が安定し野菜の仕入価格が安定していたことと、大阪の製造部門を閉鎖したことで経費を削減でき、売上原価率は59.6%と前年度の61.7%に比べて2.1ポイント減少いたしました。また、営業所の統廃合により人件費や賃借料等が減少したことにより、販売費及び一般管理費は2億61百万円減少いたしました。
- ③ 親会社株主に帰属する当期純利益は90百万円(前年度は3億82百万円の親会社株主に帰属する当期純損失)となりました。これは、統廃合により遊休となった不動産を売却したことにより固定資産売却益を1億58百万円計上したことによるものです。また、拠点の統廃合に伴う経営効率の向上を目的とし、商圏からの撤退を意思決定した支社及び本社土地の一部について減損損失2億10百万円を計上したことによるものです。

ロ 翌連結会計年度および翌事業年度の業績予想

	(連結)		(個別)	
		前年同期比		前年同期比
第2四半期累計期間				
売上高	31億46百万円	96.8%	31億41百万円	96.8%
営業利益	51百万円	51.5%	42百万円	61.7%
経常利益	39百万円	25.3%	40百万円	△63.6%
当期純利益	21百万円	△83.4%	29百万円	△83.5%
通期		前年度比		前年度比
売上高	65億28百万円	98.0%	65億18百万円	98.1%
営業利益	1億67百万円	0.1%	1億50百万円	△0.7%
経常利益	1億43百万円	△16.3%	1億36百万円	△44.7%
当期純利益	1億8百万円	20.1%	1億13百万円	△18.6%
1株当たり当期純利益	11円28銭		11円82銭	

2. 株主還元策について

イ 配当金

当期	当期の期末配当につきましては、誠に遺憾ながら無配とさせていただきたいと存じます。株主の皆様には深くお詫び申し上げますとともに何卒ご理解賜りますようお願い申し上げます。
次期予定	無配とさせていただきます。

ロ 株主優待策

毎年3月31日現在の当社株式1千株以上所有の株主に対し、6千円相当の製品を進呈いたします。

3. 財政状態について

財政状態は、決算短信2ページ「1. 経営成績等の概況（2）当期の財政状態の概況」に記載のとおりであります。

自己資本比率は、前期末の6.7%から10.2%になりました。この主な理由は、利益剰余金の増加に伴い純資産が4億97百万円に増加したことによるものです。

4. 設備投資について

当期	設備金額	3億76百万円 主なものは 土地 1億96百万円 リース資産 1億43百万円 その他 37百万円
	減価償却費	79百万円
次期予想	設備金額	2億20百万円 主なものは 建物 1億50百万円 リース債務 60百万円 その他 10百万円
	減価償却費	85百万円

5. 今後の見通しについて

今後の見通しにつきましては、新型コロナウイルス感染症の世界的流行により、国内外に大きな影響を及ぼしており、世界各国で緊急的な対応に追われ、国内経済のみならず、世界経済への長期的な影響が懸念されます。

新型コロナウイルス感染症による当社グループへの影響につきましては、感染拡大や長期化に伴い、消費の低迷や、業種・業態を超えた競争激化、一部仕入価格が高騰する等の懸念があります。一方で、安全・安心で美味しい食材をお届けする弊社の事業は、新型コロナウイルス感染拡大による外出自粛が叫ばれる中、社会のインフラとして重要な役割を担っていると認識しております。

このような状況の下、当社グループは前連結会計年度より取り組んでおります、拠点統廃合による経営効率の向上、原価低減への取り組み、経費面の徹底的な見直しの3つの施策を引き続き推進すると同時に、配送ルート最適化、マーケティング分野の強化へ着手し、より強固な宅配システムの確立を推進しております。

以上の結果、翌連結会計年度（2021年3月期）の連結業績見通しにつきましては、売上高65億28百万円（前期比2.0%減）、営業利益1億67百万円（前期比0.1%増）、経常利益1億43百万円（前期比16.3%減）、親会社株主に帰属する当期純利益1億8百万円（前期比20.1%増）を見込んでおります。

以 上